

めざせ未来のノーベル賞

サイエンス  
フェスティバル

▲巨大昆虫を見て喜んでいました

10月26日、総合体育館・岩井球場を会場に、第5回坂東市サイエンスフェスティバルが開催され、親子連れなど約850人のかたが来場、科学やものづくりの魅力に触れ、楽しい一日を過ごしました。

フェスティバルでは、坂東市の秋の星空を満喫するプラネタリウム、各種団体による科学の実験や工作教室、観察特別企画として科学戦隊実験ジャーVSナゾナゾマンによるサイエンスエンターテインメン

トシヨーや人間大の昆虫写真展などが行われました。

## あいさつ・声かけ運動

いばらき教育月間である11月は、地域コミュニケーションの再生と青少年健全育成を目指して、「あいさつ・声かけ運動」を推進しました。

今年は、高校生や青少年育成坂東市民会議のみなさんが参加し、小中学校の校門では元気な声であいさつが交わされていきました。



▲七重小学校校門でのあいさつ・声かけ運動

インフルエンザ予防  
マスクを配付

▲代表で3人の園児がマスクを受け取りました

市では平成23年度からインフルエンザ予防や放射性物質対策として、こども園、保育所、幼稚園、小・中学校にマスクを配付しています。今年も約6500人の子どもたちに1人あたり100枚を配付しました。

10月31日、岩井公民館で行われた贈呈式では、代表の園児がマスクを受け取ると、大きな声で「ありがとうございます」と応えてくれました。インフルエンザや風邪に気を付けて、元気に通園・通学してください。

## 坂東市作品展開催

11月14日～16日、総合体育館・岩井公民館にて坂東市作品展が開催されました。

作品展は、市民のみなさんの生涯学習に対する意欲を高めるとともに、芸術文化活動の振興を目的に開催されています。

今年は、書道、絵画、手工芸、理科研究など、児童生徒や市民のみなさんからの応募作品約2500点が展示され、3日間で5300人のかたにご来場いただきました。



▲見事な作品が数多く展示されました

宝くじ助成で  
山車を新調

▲西坪行政区で新調した山車

先ごろ、西坪行政区が一般財団法人自治総合センターのコミュニケーション助成事業により山車を新調、お披露目式が行われました。

コミュニケーション助成事業は宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニケーションの健全な発展を図ることを目的に行われています。

お披露目式には、区長をはじめ、子ども達からお年寄りまで多くのかたが集まり、新しい山車の披露を祝いました。西坪行政区のお囃子会はさしまの夏まつりや古城まつりなど、多くの行事に参加しています。新調した山車の雄姿を楽しみにしてください。